

漢方産業化推進研究会

「第1回漢方セミナー2015」未病・漢方の産業化への可能性」開催 日本製漢方をアウトバウンドに

超高齢社会を迎えるわが国において、健康寿命の延伸と、医療費の抑制が大きな課題となっている。この問題に対し、「漢方の産業化が国の持続的な社会保障制度の構築につながる」との考えから、一般社団法人漢方産業化推進研究会が発足。8月19日に「『第1回漢方セミナー2015』未病・漢方の産業化への可能性」を開催した。一般消費者も参加した同セミナーでは、代表理事の慶應義塾大学環境情報学部教授医学部兼任担教授・渡辺賢治氏が「漢方を通じて日本を持続可能な国にしていく。産官学が一体となって、漢方で国を元気にしていきたい」と呼び掛けた。

医療費抑制とセルフメディケーション振興で注目集まる



漢方産業化推進研究会代表理事・渡辺賢治氏



「第1回漢方セミナー2015」未病・漢方の産業化への可能性」開催
「漢方を通じて日本を持続可能な国にしていく。産官学が一体となって、漢方で国を元気にしていきたい」と呼び掛けた。



一般消費者をはじめ、企業からの参加者も多く見られた

「漢方を通じて日本を持続可能な国にしていく。産官学が一体となって、漢方で国を元気にしていきたい」と呼び掛けた。

薬草・薬木栽培は地方創生の救世主 耕作放棄地の有効活用を

「地方創生で薬草・薬木栽培が注目されておられる。すでに多くの地域で取り組みが始まっている。超高齢化社会をどう乗り切るか、そして荒れた国土をどう立て直すかが大きな目的」と強調。

「漢方産業化は、超高齢社会にたいして、民間から国を変えていくという趣旨で多岐にわたる自治体に参加している。栽培からこの国を元気にしよう」と鹿角島から来議院の野間健氏にも参加し、研究会ではこれまで、会員向けセミナーは開催してきしたが、今回「漢方をより身近なものとして感じて欲しい」との考えから、初めて生活者向けにセミナーを開催した。

「原料高騰により漢方薬の安定供給が困難になってきた。製品によっては価格の見直しも検討しなければならぬ」と、国内での取り組みが農業再生だけでなく、漢方薬原料の確保に大きく寄与できるとしている。

「漢方産業化は、セルフメディケーションの振興と医療費抑制が期待されることから、関心が高まっているカテゴリーの一つ。」

New! 頭痛・生理痛に

速く効く+胃にやさしい成分

ロキソニンSプラス 頭痛・生理痛

LOXONIN S plus

12錠/12回分 第1類医薬品

ロキソニンSプラス

速く効く

胃にやさしい成分

plus

どっかじゃなくてどっちも。

この医薬品は、薬剤師から説明を受けて、「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いいただきますよう、また、アレルギー体質の方は、必ずご相談いただきますよう、ご説明下さい。

※酸化マグネシウム 本品についてのお問い合わせは【お客様相談室】 0120-337-336 □受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

第一三共ヘルスケア